

平成27年度低学年教育点検の集計結果とまとめ

点検評価委員会

(1) 総合成績評価表点検の集計結果

学科名	総科目数	提出科目数と割合		シラバスの評価方法通りの評価方法(計算式)か		評価方法の欄の通りに学年成績を計算しているか	
		科目数	割合 [%]	×の数	割合 [%]	×の数	割合 [%]
生産システム工学科	34	33	97.8	6	18.1	2	6.1
物質環境工学科	18	18	100	0	0.0	0	0.0
社会基盤工学科	17	16	100	2	12.5	2	12.5
一般人文系	111	111	100	0	0.0	0	0.0
一般理数系	73	73	100	4	5.5	0	0.0
1年専門共通	4	4	100	0	0.0	1	20.0
総合 (H26→H27)	257	255	92.8→99.2	12	6.3→4.7	5	3.3→2.0

(2) まとめ

- ①総科目数 257 科目のうち提出された総合評価表は 255 科目であり、割合は約 99.2%である。
- ②評価方法に関してはシラバス通りが 95%、評価欄通りが 98%であり、全体として改善している。

(3) 備考欄のまとめ (主なコメント)

- ①小数点以下の扱いについて四捨五入と切り捨てが混在して用いられている。
- ②評価方法や評価割合がシラバスと異なる、あるいは課題点等の集計方法がわかりにくい。
- ③シラバスと総合成績評価表の評価方法の対応がわかりにくい。
- ④総合成績評価表の書式の誤記(学科、年度、満点の誤記、日付の未記入)。
- ⑤評価方法に記載されている計算式と実際の評価点数、計算式が合わない。

(4) 今後の課題

- ①総合成績評価表の提出率を 100%にする必要がある。
- ②シラバスの評価方法通りに成績評価を行うことを徹底する。
- ③シラバスと総合成績評価表の評価方法を一致させることの周知徹底する。

平成27年度高学年教育点検の集計結果とまとめ

点検評価委員会

(1) 総合成績評価表点検の集計結果

学 科	総科 目数	提出科目数 と割合		水準不足	講義時間 数不足	シラバス の評価方 法が具体 的でない	シラバス の評価方 法で評価 していない（不明 瞭）	試験問題の類似性	
		科目数	割合[%]					本試（昨年 度との比 較）	再試（本誌と の比較）
機 械 工 学 科	37	37	100	0	0	0	0	0	0
電 気 電 子 工 学 科	29	29	100	0	0	0	0	0	0
情 報 工 学 科	26	26	100	0	0	0	1	0	0
物 質 工 学 科	41	41	100	0	0	0	0	0	0
環 境 都 市 工 学 科	38	38	100	0	0	1	0	0	0
一 般 科 目	54	54	100	0	0	0	0	0	0
本 科 合 計 件 数 割 合 (H26→H27)	225	225	100	0 0→0%	0 0→0%	1 0→0.4%	1 1.4→0.4%	0 0.9→0%	0 0→0%

専攻科	総科 目数	提出科目数 と割合		水準不足	講義時間 数不足	シラバス の評価方 法が具体 的でない	シラバス の評価方 法で評価 していない（不明 瞭）	試験問題の類似性	
		科目数	割合[%]					本試（昨年 度との比 較）	再試（本誌と の比較）
一般科目 専門共通科目	24	24	100	0	0	0	0	0	0
生産システム工学 専門展開科目	24	24	100	0	0	0	0	0	0
環境システム工学 専門展開科目	16	16	100	0	0	0	0	0	0
専攻科合計件目 割 合 (H26→H27)	64	64	100	0 0→0%	0 0→0%	0 0→0%	0 0→0%	0 0→0%	0 0→0%

(2) まとめ

- ① 提出科目数の割合は、本科，専攻科ともに昨年度と同様 100 %であった。
- ② 点検項目すべてにおいて本科，専攻科ともほぼ良好な結果であったが，シラバスの評価方法が具体的でない，シラバス通りの評価を行っていない科目がそれぞれ 1 科目あった。

(3) 備考欄のまとめ（主なコメント）

- ① シラバスの評価方法が不明確。
- ② 評価方法や評価割合がシラバスと異なる，あるいは課題点等の集計方法がわかりにくい。
- ③ 評価方法に記載されている計算式と実際の評価点数、計算式が合わない。

(4) 今後の課題

- ① 総合成績評価表の提出率を 100%にする必要がある。
- ② シラバスの評価方法通りに成績評価を行うことを徹底する。
- ③ シラバスと総合成績評価表の評価方法を一致させることの周知徹底する。